



株式会社イセキ開発工機

ISEKI POLY-TECH, INCORPORATION

History of ISEKI

2010 欧州地区代理店契約をAGC社から
[Specialist Plant Associates LTD.]へ変更

2010~12 中央環状品川線シールドトンネル工事
パイプラーフ工施工

2013~14 横浜環状北線パイプラーフ工施工

2015 東京外環自動車道市川中パイプラーフ工施工

2015~16 東京外環自動車道田代パイプラーフ工施工

2017~18 九州新幹線環状トンネルパイプラーフ工施工

2010年代販売台数

アンクルモール=5台
アンクルモールスーパ=20台
アンクルモールミニ=12台
アンクルモールV=8台
その他=16台



JFケネディ国際空港プロジェクト



イギリス テムズウォータープロジェクト



2008.3 チェコカルビナー

2010 >>



000 >>

2020 >>



!000 台北松山空港(台湾)
パイプラーフ工事 φ812
=100m×72本 74m×83本
日本ノーディングを他社へ譲渡
SEKIINC(USA)事業閉鎖

5日本キカイ設立
URO ISEKI閉鎖(UK)し
3国法人[AGE]社と欧州地区
代理店契約を締結

14 首都圏中央環状新密線
パイプラーフ工施工

ミ々木上原駅・梅が丘駅間
1体交差パイプラーフ工施工

販売台数

アンクルモール=12台
アンクルモールスーパ=56台
アンクルモールミニ=64台
アンクルモールV=30台
その他=7台



1993-2000 台湾 松山空港パイプラーフ



2020 中国武漢市から感染が始まった
新型コロナウイルスのパンデミックを受け
海外渡航ができなくなる

2021 創立50周年

2022 2022年4月に全株式を
株式会社グループに売却
100%子会社となる

2022~23 北勢バイパス坂部
トンネルパイプラーフ工施工

2022 7月より、コロナ感染の沈静化から
海外出張解禁

2023 コロナにより遅延していた、
アジア新興国のプロジェクトが再開し、
各国からの新機注文が再開

2020年代販売台数

アンクルモール=4台
アンクルモールミニ=7台
その他=3台



シンガポール TCK200C

主力製品であるトンネル掘削マシンの設計・製作・販売・施工と共に歩んだ半世紀、「ただトンネルを掘るだけではない、掘ることでそこに暮らす人々の暮らしを豊かにする。」それが我々イセキ開発工機の得意とする仕事です。



「イセキのマシンで施工したい」

これは海外の現場から寄せられた言葉です。



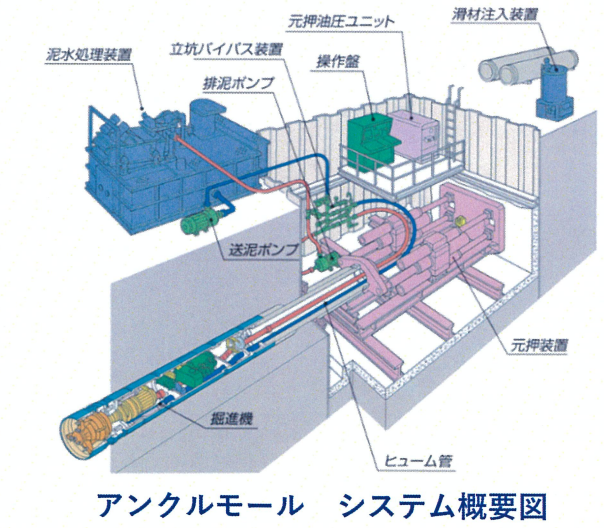
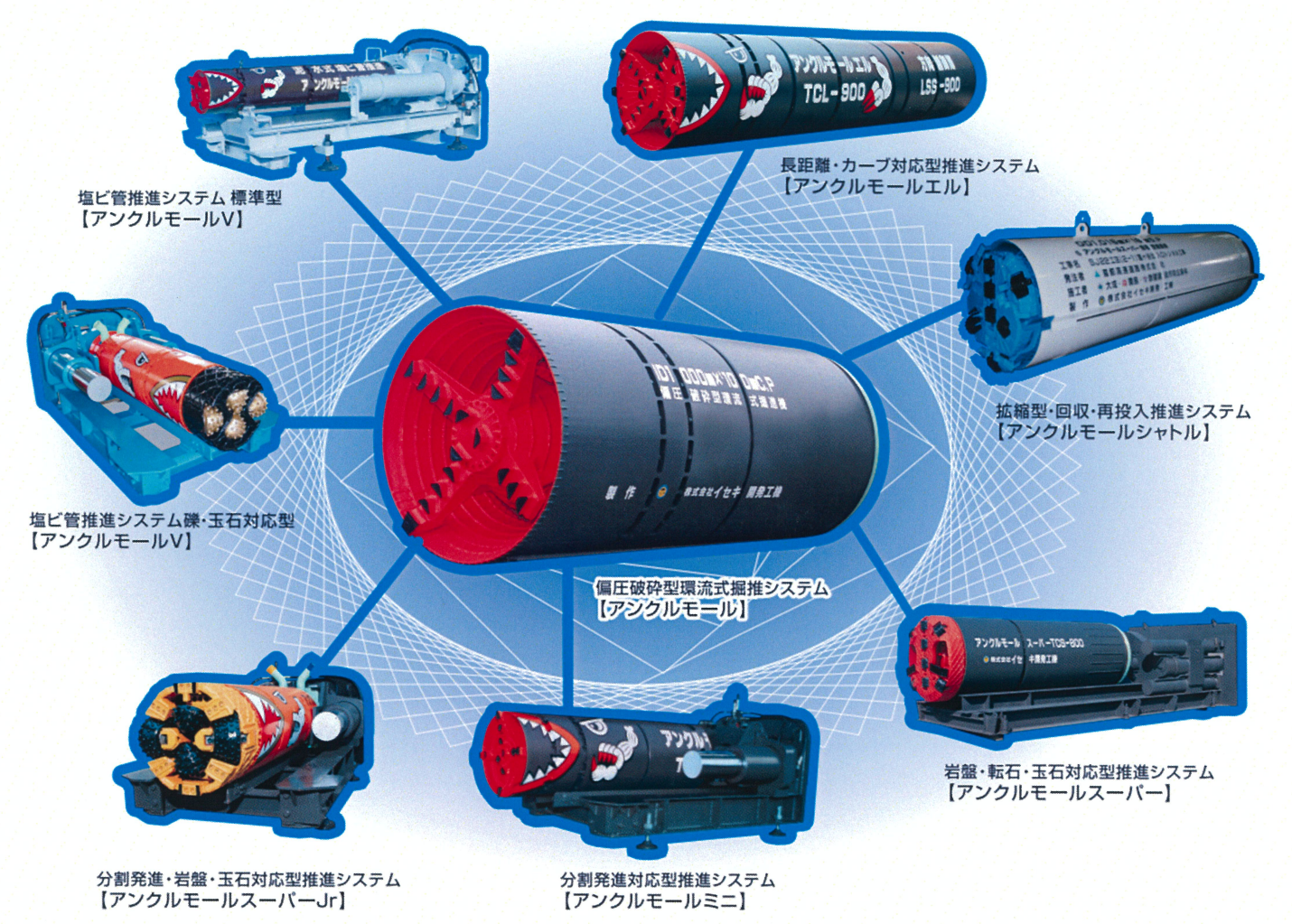
創業以来半世紀、弊社は世界中から高く評価されるトンネル掘削マシン「アンクルモール」を主軸に地下インフラの構築のためのマシンを作り続け、その生産台数は全世界で2,500台を超えるまでになりました。現在ではラインナップを充実、さらにシールドマシンも設計・製作するなど様々なお客様のご要望にお応えしております。また、掘進工事の施工では、道路や鉄道建設のためのリターンパイプルーフ、ケーブルの陸揚げのための弧状推進（アースシャトル）といった“イセキでしかできない”高い技術力が求められる現場で皆様のお役に立っています。

設計・製造・販売が一体となって技術開発をサポート
高度化するニーズに応えるべく、イセキの掘進機は進化し続けています。

アンクルモール（φ200mm～φ3000mm）

1970年代、地下インフラ設備構築が開削工法が一般的だった中、イセキでは、地上からの遠隔操作によって地下を正確に掘り進む画期的なトンネル掘削システムを独自に開発、特に『アンクルモール（偏圧破碎型還流式掘進機）』は軟弱地盤から固い地盤まで対応範囲が広く、掘削スピードも速いため、その性能から世界中で愛されています。
トンネル掘削技術が高度に確立された現在においても、アンクルモールの基本技術は高い評価を維持するだけでなく、自社工場を持ち独自に改良ができる強みを生かし、お客様の多岐にわたるニーズにお応えすべく様々な現場に対応できるラインナップを揃えるまでに進化しております。

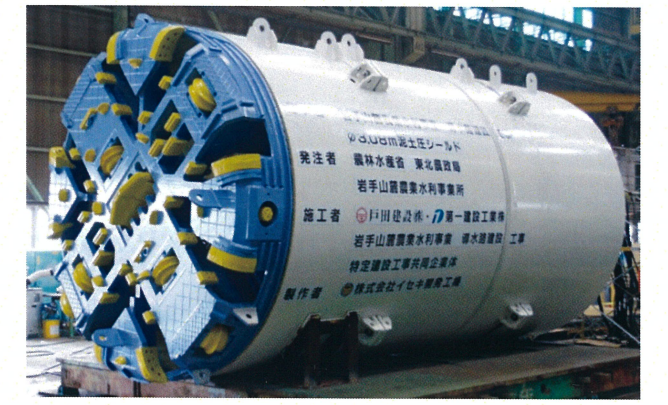
アンクルモール ラインナップ



アンクルモール システム概要図

シールドマシン

より大きなトンネル掘削を可能にするシールドマシンの企画設計・製作も承ります。



設計から施工まで、地下インフラ整備をトータルにプランニング
自社開発した最先端システムと工法を活用し、トンネル掘削工事のあらゆる難条件に立ち向かいます。

●パイプルーフ工事

過密都市部においては、地下道路、地下鉄、上下水道、電気、通信等のインフラ設備を地下で整備することで、美しく安全で快適な都市環境が実現されます。
地下空間の開発において、イセキの泥水式リターンパイプルーフ工法が大いに貢献しています。この工法は、施工の過程で出る産業廃棄物が少なく、地上環境への影響が少なく済むため、自然環境にも生活環境にも優しい技術です。さらに経済的効果も大きいいため、国内に限らず海外からも依頼が来ております。



●陸揚げ管設置工事

離島への通信ケーブルの敷設や、洋上風力発電所からの電力ケーブル敷設には「陸揚げ」作業が伴いますが、イセキでは弧状推進「アースシャトル工法」の施工も行っております。
今後はコストパフォーマンスを重視した「マリンシャトル工法」も開発されており、より多様な対応が可能となります。



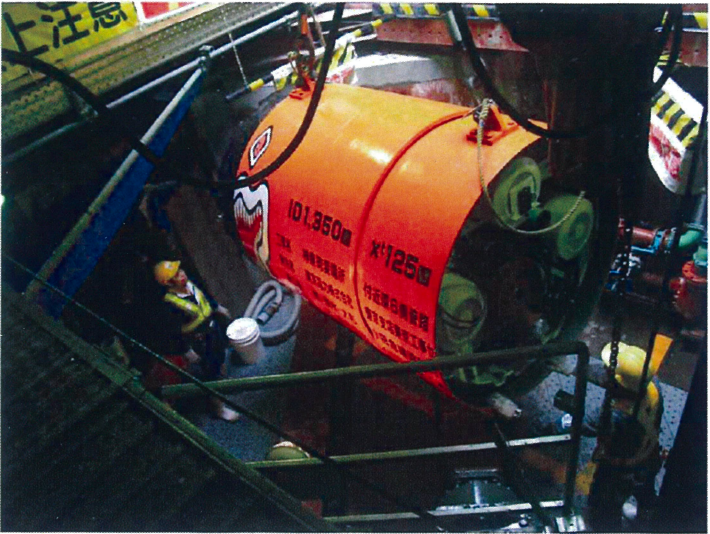
●新技術の開発

最新のICT技術を活用し、様々な新技術の導入にチャレンジしています。

- ・最新通信技術を応用 ⇒ マシン遠隔操作システム
- ・AIによるマシン操作支援 ⇒ 自動運転システム
- ・映像解析技術等を応用 ⇒ 自動測量システム
- ・通信技術を活用 ⇒ マシン無線伝送システム



●神泉町変電所付近環6側管路移転工事
使用工法：泥水式マッドマックス工法



●台東区蔵前二丁目・浅草橋三丁目付近再構築工事
使用工法：アンクルモール工法（急勾配推進）



●沖縄県 南北大東島ケーブル敷設工事
使用工法：アースシャトル工法



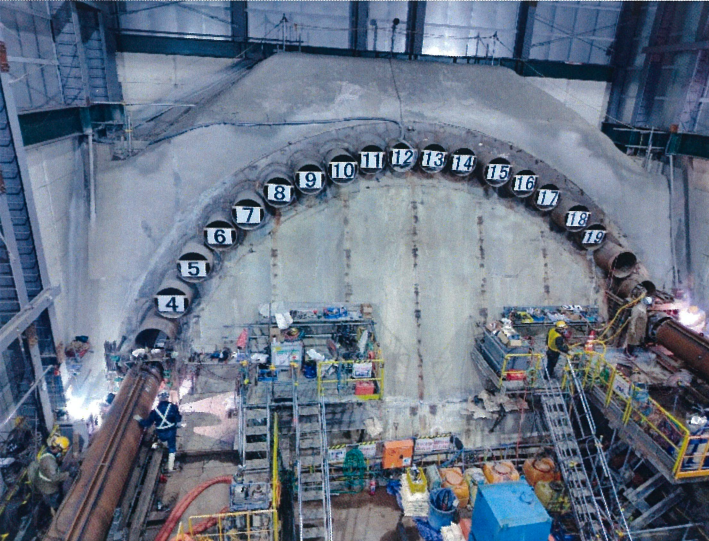
●東北新幹線、市川トンネル他1工事
使用工法：パイプルーフ工法、アンクルモールシャトル工法他



●9号京都西立体千代原トンネル本体工事
使用工法：パイプルーフ工法、アンクルモールシャトル工法、他



●三重県 北西バイパス坂部トンネル工事
使用工法：リターンパイプルーフ工法



なぜ、世界中で2,500台を超えるマシンを販売できたのか？
イセキのトンネル掘削マシンは今日も世界中でお役に立っています。

イセキのマシンは、ただ性能が良いから売れているわけではありません。
設計・製作・施工をワンストップで行える企業である強みを生かし、現場の声を反映したアップデートを続けていること、また、お客様のご要望にお応えするため全部門が協力して様々な観点から検討を行い最適なお提案をすることがこれだけの販売台数につながってきました。
これからも、培ってきた技術ベースに加え、ICT技術を応用した新技術を駆使し、世界中のお客様に選んでもらえるイセキであり続けます。

海外でのイセキマシンによる販売例



●イセキの社風 若手社員も頑張っています。

風通しの良いのがイセキの社風です。時には社長も参加して若手社員と開発について議論を交わします。（右写真）

海外への営業活動は、語学力、コミュニケーション能力、技術力等が求められ、未だにベテラン社員が欠かせない領域ですが、20歳台の若手社員も頑張っています。
今後、現場のICT化・DX化が進み、次世代の台頭が望まれる中、設計・製作・施工・販売の各分野で若手社員が育っています。

- 「世界を股にかけて活躍してみたい」
- 「営業をしながら技術力も身に着けたい」
- 「普通では体験できない仕事をしたい」

貴方のやりたいことがイセキにはあるかも…。

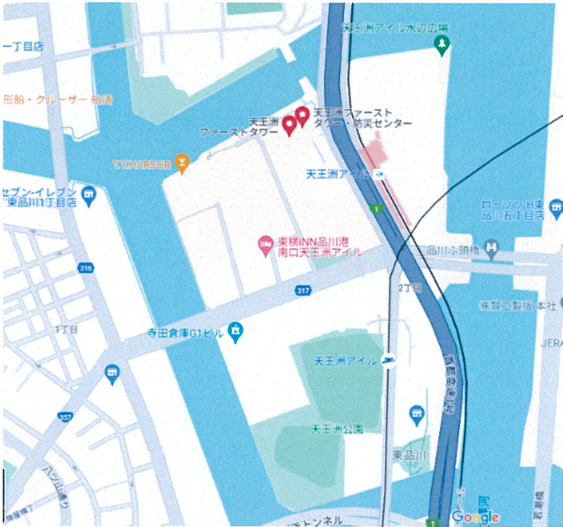


海外のお客様との設計検討会議状況

会社概要

社名 株式会社イセキ開発工機
ISEKI POLY-TECH, INCORPORATED
設立年月日 昭和46年6月18日
資本金 60,000,000円
代表者名 小田原 豊
本社 東京都品川区東品川2丁目2番4号
天王洲ファーストタワー6F
関西支店 大阪府大阪市中央区淡路町1丁目4番8号
千葉工場 千葉県佐倉市坂戸1丁目1番8号
奈良工場 奈良県香芝市藤山2丁目1153番2号
インドネシア駐在員事務所 Level 23 Penthouse Plaza Marein
Jl.Jend.Sudiman Kav.76-78.Jakarta
許可 ●国土交通大臣（特30号10881号）
土木工事 とび・土工事業 管工事業
鋼構造物工事業 舗装工事業 しゅんせつ工事業
造園工事業 水道施設工事業
●国土交通大臣許可般30第10881号
機械器具設置工事業

営業品目 ●建設機械分野
・シールド掘進機
・セミシールド掘進機
泥水推進機 土圧推進機 泥濃推進機
置換式推進機 その他推進工事用付帯機器
●工事業分野
・シールド工事
・推進工事 泥水推進工事 土圧推進工事
泥濃推進工事 管更新工事
・パイプルーフ工事
・一般土木工事



<本社>
〒140-0002
東京都品川区東品川2丁目2-4
天王洲ファーストタワー6F
TEL：03-6260-1230（代表）
FAX：03-6260-1241
りんかい線天王洲アイル駅徒歩5分
東京モノレール天王洲アイル駅徒歩3分
JR品川駅よりバスあり

株主

エクシオグループ株式会社

取引銀行

きらぼし銀行 新橋法人営業部
千葉銀行 錦糸町支店
みずほ銀行 麹町支店・赤坂支店

役員構成

<取締役>
代表取締役社長 小田原 豊
取締役 榎山 誠
取締役 松尾 敬太
取締役 田村 昌樹
取締役 早澤 嘉和

従業員数

64名
男性 57名
女性 7名

ホームページ <https://iseki-polytech.com>



本社は2024年5月に天王洲に引越しました。



History of ISEKI

1971 株式会社三池エンジニアリングの称号で設立

1973 株式会社三池エンジニアリングに商号変更

1976 東京工場開設

1976 MEP1号機販売

1977 大阪営業所開設
テレモール1号機販売

1970年代販売台数
MEP=56台
テレモール=27台



1982.3~4 西ドイツ・ハンブルク下水道プロジェクト

1990 日本工場開設
アングルモールサン完成
置換式掘削機完成
名古屋営業所開設

1991 ISEKI INC.設立(USA)
三芳工場開設
ベリモール備設
アングルモールZ完成

1992 長野出張所開設
数珠土掘削機完成
アングルモールスーパー完成

1994 日本ノーディグ設立
アングルモールエル完成

1996 ソウル事務所開設
パーティカルモール完成
アングルモールミニ完成

1990年代販売台数
MEP=5台
テレモール=4台
クランピングモール=8台
アングルモール=399台
アングルモールスーパー=223台
アングルモールV=416台
その他=255台

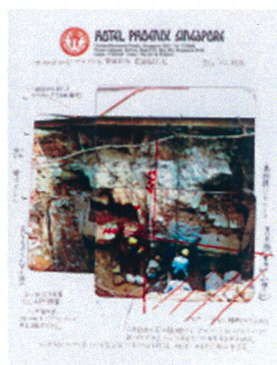


1991.4 アメリカ

1970 >>

1990 >>

1980 >>



1982 シンガポール オーチャード道路プロジェクト

1980 管掘進工事の施工分野に進出
九州営業所開設

1981 クランピングモール完成

1983 北海道営業所開設
八千代工場開設

1984 アングルモール完成

1986 東北営業所開設

1988 EURO ISEKI設立(UK)
米国支店開設(USA)
広島営業所開設
宮崎出張所開設

1980年代販売台数
MEP=112台
テレモール=69台
クランピングモール=83台
その他=19台



1982.11 シンガポール チャンギ空港プロジェクト



1999

2000

2003

2003

2005

2000